

2023年度 日本工学院専門学校											
マンガ・アニメーション科											
MC概論2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	高田 悠平			実務経験	有	職種	マンガ編集者				
担当教員紹介											
マンガ編集者。自身もマンガ家を目指していた経験から企業マンガやオリジナルマンガの編集を多数担当。映画「BAKUMAN。」やユーキャン「行政書士合格指導講座」など企業マンガや、縦型スクロールマンガの編集など多数の実績を持つ。 現在もフリーの編集者として活動中。											
授業概要											
この科目では、マンガを「物語」「絵」「演出」「言葉」に分解し、研究・考察を行うことにより作品制作において多角的な考え方や視点が必要であることを理解すると同時に、第三者としての目線で作品および業界の分析を行うことの重要性を意識する。さらには、グループワークを用いて、自らの考えを他者と共有することや、創作の多様性を知覚することでクリエイターとして必要な自分の考えを持ち、まとめていく能力を身に着ける。											
到達目標											
この科目では、マンガを主な題材として作品から作者の意図や考えを、第三者としての視点を持つ重要性を理解することにより、読み解く力を磨き分析力を身に着ける。その上で、作品に込められたメッセージが読者にどのように届けられ影響を与えているかを考え、業界への意識を高めると共に、自らも作品を制作しプレゼンテーションを行うことで、伝える工夫や言葉に置き換える言語化を向上させることを到達目標とする。											
授業方法											
この授業では課題内容に応じて「分析」と「発表」に重きを置き、多角的な視点と自身の考えを言葉にする力を磨いていく。まずレクチャーを行い、次に授業におけるテーマについて個々で分析を行う。その後、個人ワークまたはグループワークとして作品やアイデアを発表する。分析の際は、マンガだけでなく他のコンテンツとの関連性も意識することにより、日常的に分析する意識付けを図る。											
成績評価方法											
課題	60%	課題の内容や発想力を総合的に評価									
成果発表	20%	発表内容や構成力を総合的に評価									
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価									
履修上の注意											
多角的な視点や考えを磨くため課題毎の分析を怠らず、先生の話はもちろん、他学生とのディスカッションを真剣に聞くだけでなく前向きに発言を行う姿勢を持つこと。また、得た情報に関しては、自信が感じたことを常に意識し、なぜその考えに至ったかなどを論理的に考え、まとめれるようにしておくこと。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
テーマに沿った資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	絵柄の研究・考察「少年誌・青年誌における表現方法」										
第2回	絵柄の研究・考察「少女誌における表現方法」										
第3回	ストーリー構成の分析①「アクション・バトル 作品」										
第4回	ストーリー構成の分析②「日常・恋愛 作品」										
第5回	ストーリー構成の分析③「つかみ（冒頭）の重要性」										

2023年度 日本工学院専門学校	
マンガ・アニメーション科	
MC概論2	
第6回	テーマに基づくネーム演習①「会話シーン」
第7回	テーマに基づくネーム演習②「クライマックスシーン」／ネーム演習①「会話シーン」の講評
第8回	ネーム演習②「クライマックスシーン」の講評
第9回	キャリアスキル「企画会議、打ち合わせの方法について知る」
第10回	企画会議ワーク①「テーマに基づく企画作成」
第11回	企画会議ワーク②「グループごとに企画の共有・意見交換」
第12回	企画会議ワーク③「ブラッシュアップした企画の全体向け発表」
第13回	企画会議ワーク④「テーマに基づく企画作成」
第14回	企画会議ワーク⑤「グループごとに企画の共有・意見交換」
第15回	企画会議ワーク⑥「ブラッシュアップした企画の全体向け発表」